

2月号

第189号  
発行・グリーンコープ生協ふくおか 理事会  
編集・広報委員会  
福岡市博多区博多駅前1-5-1博多大博通ビルディング3F  
TEL・092-482-7770(代)  
ホームページ・http://www.greencoop-fukuoka.jp

# グリーン・ウェーブ GREEN WAVE

グリーンコープのうねりを地域へ

## 今月号の主な内容

南と北の連帯	2
遺伝子組み換えを広げない	3
ファンデーションで	
美肌づくり	4・5
つどい報告	6
福祉活動組合員基金	7

メーカー・  
生産者との  
交流

ふくれんさんのおすすめは  
青汁と豆乳のスムージー!

筑豊支部  
直方西地域

地域組合員総会は地域組合員がグリーンコープの活動や事業の決定に参画するとも大切な場です。地域総代をみんなで選び、生産者やメーカーとの交流ではグリーンコープを体感することができます。いのち、食べもの、環境、暮らしなど、グリーンコープのさまざまな活動を実感できます。

みんなで参加して活動の輪を広げていきましょう。

各地域の活動報告

産直国産牛の  
アピールの様子

小倉南支部  
小倉南・中央地域

## みんなで参加しよう! 地域組合員総会

おいしい試食も  
楽しめます!

☆メニュー  
・パンの食べ比べ  
・牛肉のじぐれ黒バーガー  
・お手軽ソルロンタン  
・すき焼きそぼろオムレツ  
(昨年度の試食)

福岡なか支部  
みなみ東地域

テーマ  
みんなで広げよう!  
グリーンコープ

2月13日(月)~3月11日(土)

※開催日時・会場などについては、案内チラシをご覧ください。

楽しいことが  
いっぱい♡

組合員の  
楽しい交流

筑紫支部  
宇美・志免地域

### 2017年度地域総代選挙の公示

グリーンコープ生活協同組合ふくおかの2017年度の地域総代選挙について、地域総代選挙規則第4条に基づき、下記の通り公示します。なお、公示は各地域本部の地域理事長が行います。

記

#### 1. 選挙区と地域総代定数

選挙区	地域総代	地域理事長	選挙区	地域総代	地域理事長
小倉北支部	51名	(北九州地域) 加島 美香	福岡東支部	60名	(福岡地域) 北口 淳子
小倉南支部	34名		福岡なか支部	89名	
京築支部	27名		福岡西支部	81名	
八幡西支部	38名		筑紫支部	65名	
折尾若松支部	34名		久留米支部	49名	
中遠支部	45名		筑後支部	37名	
筑豊支部	75名	(中部地域) 三原 幸子	大牟田支部	23名	(南地域) 松本 裕子
宗像支部	50名				

#### 2. 立候補受付期間

2017年1月30日(月)午前10時~2月11日(土)午後4時

立候補される方は、所定の立候補届に必要事項を記載して、各支部の選挙管理委員まで提出してください。

#### 3. 選挙管理委員(地域総代選挙)

2017年1月23日

選挙区	選挙管 理 委 員
小倉北支部	渡辺 理加 ウィリアムズ陽子 伊藤 均美
小倉南支部	貝塚 曜美 中村 香苗 小池 愛
京築支部	有松 貴子 牧野 美雪 森永 要子
八幡西支部	蝶川内 富恵 中田 友加 酒井 智美
折尾若松支部	鳥越 聰子 福田 佳代 香川 典子
中遠支部	田中 浩子 山本 多恵 荒竹 初美
筑豊支部	中尾 千佳 榎本 恵里子 伊藤 美香
宗像支部	内田 美保子 藤本 敦子 瀬戸口 紀子
福岡東支部	中山 久美 堀川 弘恵 指方 朋子
福岡なか支部	新井 明美 緒方 貴代 松尾 聰子
福岡西支部	甲斐 真奈美 中島 綾子 横溝 美保
筑紫支部	小田 純子 秋山 亜紀子 草場 有紀
久留米支部	大坪 裕子 田中 久美 水町 真由美
筑後支部	奥歯 由美 甲斐田 佳世 緒方 美沙紀
大牟田支部	吉本 里花 木村 知佳 樋口 真純

#### 4. お問合せ

グリーンコープ生活協同組合ふくおか 管理本部

TEL 092-482-7770

11/22

「キープ&ショップくぬぎ」がオープンしました!

大牟田市歴木に大牟田支部併設のキープ&ショップがオープンして、2ヶ月が経ちました。内装デザイン、壁づくり、壁紙貼り、ペンキ塗りなど組合員の手作りによる本当の「私たちのお店」ができました。組合員からは近くにお店ができる助かるとの声が多く寄せられ、最近では小学生がおやつを買いたいに来るなど徐々に地域になじんできています。オープニングイベントには多くの方々に来ていただき、これからこの地域で愛されるお店にしていきたいとの思いでいっぱいになりました。(大牟田支部委員長 沢上 桂子)

組合員が手作りした  
お店の様子!



立候補した地域総代の確認をするよ!  
詳しい日程などは、各地域からチラシが配布されます。お楽しみに!!  
(参加できない方は委任状を出してね)



# 南と北の連帯



# ネグロスとの連帯の30年をふりかえって…

ネグロスバナナは、単に無農薬の安心・安全なバナナだけではありません。その背景には、たくさんの人たちの「思い」が込められた、長い長い物語があります。

## グリーンコープとネグロスの連帯のあゆみ

1984年

世界的な砂糖価格の暴落で、ネグロス島が「飢餓の島」となり、世界的に注目される

1986年

ネグロスの飢餓に対する救援団体として「日本ネグロス・キャンペーン委員会(JCNC)」発足  
ネグロス島へ食料や衣料品の緊急援助開始  
オルター・トレード社(ATC)設立

1987年

マスコバド糖の輸入を開始、民衆交易が始まる  
ネグロス視察団(18人)が、飢餓状態のネグロスを視察

⇒「山本哲江さんのお話」参照



1989年

無農薬栽培バランゴンバナナのテスト輸入のあと、民衆交易が本格化  
オルター・トレード・ジャパン(ATJ)設立



1991年

第1回ネグロス組合員ツアーデ  
10人がネグロスへ ⇒「吉見やよいさんのお話」参照  
※現在、fromネグロス組合員ツアーリーとして東ティモールやパプアへと広がっています。

第1回青少年ネグロス体験ツアーデ

9人がネグロスへ  
※これ以降青少年ネグロス体験ツアーリーは続き、昨年で19回となりました。

2008年

JCNCの活動を継続し、より発展させるため、特定非営利活動法人APLA設立

2009年

互恵のためのアジア民衆基金設立

## ネグロスとの出会いで私の人生観が大きく変わりました。

ネグロスとの出会いは、砂糖の暴落によるネグロス島の子どもたちの飢餓が深刻な時、当時の理事会でネグロスの視察の提案があったことです。私は「すぐに行きたい」と申し出ました。家族に相談した方がいいのでは…という助言を頂きましたが、私のことだから、私が決めますと言ったのを覚えています。当時34才。

まだ治安の悪いネグロスでしたが、そこで、世の中のことを学びましたし、私の人生観が大きく変わりました。食べ物がない子どもたちは、畑のさとうきびを折って、みんなけんかもせずに分け合って食べていました。それでも彼らの目は、日本の裕福な子どもたちよりも輝いていました。けれど、病院で紙袋の様に軽い子どもたちを抱きかかえると辛くて、せつなくて、ずっと泣いて、涙が止まりませんでした。

## “いのち”を守る食べもの運動

世界の2割の人口の先進国私たちが、8割の人口の発展途上国の人たちの資源を搾取して生きています。私たちは何のために食べ物の運動をしているのかを考えました。“いのち、を守りたい”と思ってやってきた運動は、自分の子どものことだったのか、そうではないと気づかされました。ネグロスの人たちに私たちは何をしたらいいのか尋ねると「あなたたちは、あなたたちのできることをしてください。私たちは、私たちのできることをします」と答えられたことが印象的でした。これからも私らしく組合員として生きていくのだろうと思います。

### 吉見 やよいさん

1974年ふくおか西部生協に入社。  
1991年第1回ネグロス組合員ツアーリーに参加し、ネグロスを視察。  
1995年グリーンコープ生協(福岡)の理事長に就任。  
現在、労働協同組合FP円縁の代表。

ます。また、その年の大型台風で、バランゴンバナナ産地に大被害があり、ネグロスの人たちの生活にも大きな打撃がありました。ネグロスの子どもたちの願いは、「1日3度の食事がしたい。学校に行きたい。家族の助けになりたい。」というものでした。夜、皆で見た星の美しさは忘れられません。そして、ネグロスの子どもたちの目の美しさも一緒にありました。豊かな日本とは違う、家族や地域で助け合うなか懐かしい風景がまだそこにはありました。

## 南との連帯はこれからも続けたい。

## 子どもたちに安心・安全なバナナを食べさせたい。

マスコバド糖をグリーンコープが取り扱うようになった当初は、虫やたばこの吸殻などの異物混入がありました。そのたびに職員が現地に行き、一緒に品質管理に取り組み、組合員は一生懸命に支援して、今の品質のいいマスコバド糖が出来上がりました。ネグロスバナナも安心・安全なバナナが欲しいという組合員の声で、現地の人が食べないバランゴンバナナを輸入することになりました。当初はネグロスから日本に無農薬のバナナを輸出することは困難でしたが、2度のテスト輸入の失敗を受け、3回目には成功。その後定期輸入開始となりました。その当時は、「4本中、1本しか食べられない…」など組合員の様々な意見がありました。しかし、「南との連帯はこれからも続けたい。子どもたちに安心・安全なバナナを食べさせたい」という組合員の想いで、続けてこられたのだと思います。

2016  
11/13~15

インドネシアのスラバヤ市で開催された、「互恵のためのアジア民衆基金(APF)第7期通常社員総会」と、「エコシュリンプの養殖池・加工場視察」に参加して。

総会では、そこに住む地域の人と環境を大切にしながら、自立を目指して様々な支援の取り組みがなされていることがわかり、「組合員みんなで出し合うことによって、形となり活かされていること」に温かい想いがあふれてきました。

エコシュリンプ養殖池では、自然豊かな中、養殖する数を少なくて、ストレスを感じさせないで伝統的粗放養殖を守り、のびやかに育てられているのがわかりました。

池を管理しているサイー夫妻は、池のそばで寝食しながら働いておられ、エビとともに毎日を過ごし作業をしてもらうことで、美味しいエビが届けてもらっていることに感謝でいっぱいになりました。

福岡地域理事長 北口 淳子



30年前、世界的な砂糖価格の暴落で「飢餓の島」となってしまったフィリピンのネグロス島。その緊急支援のためにJCNC（日本ネグロスキャンペーン委員会）が立ち上がり、グリーンコープもその取り組みに呼応しました。それ以来、ネグロスの人々との共生・連帯の取り組みをすすめ、今アジアへ広がっています。

昨年11月に行ったfromネグロス学習会で、組合員からみた連帯と歴史を、先輩組合員からお聞きしました。

その内容をお知らせします。

### 山本 哲江さん

1979年ほくちく生協に入社。  
1987年ネグロス視察団で、飢餓状態のネグロスを視察。  
のちに、グリーンコープ生協福岡・北九州の理事長に就任。



GM

(遺伝子組み換え)を  
広げないためにグリーンコープの  
遺伝子組み換え反対運動を  
さらに力強く進めていきましょう!

グリーンコープは、食の安全を脅かし生物多様性を破壊する遺伝子組み換え作物（GMO）に反対し、全国の同じ思いの仲間と「GMOフリーゾーン運動」や「自生GMナタネ汚染調査活動」、「GM食品に表示を求める運動」などに取り組んでいます。また、取り扱う商品もnon-GMOを追求しています。

しかし遺伝子組み換え技術の目まぐるしい進歩により、遺伝子組み換え問題はますます私たちだけの意識だけでは難しくなりました。遺伝子組み換え問題を巡るグリーンコープのGMO反対運動の取り組みと方針をまとめてお伝えします。

## 行政への働きかけ

## 福岡県への訪問

11/7



4月から福岡県が制定した「食の安全・安心の確保に関する条例」が施行されます。しかし、その中に遺伝子組み換えについての条文は組み込まれていません。



大橋理事長

条例ができたことは素晴らしいですが、食の安全・安心を掲げるのであれば、中身はもう一歩踏み込んでほしいです。アメリカ国民は、この1年で関心を高めました。海外からも観光客を増やしたいのならば、「福岡の食べものは安心だ」というメッセージが発信できればいいと思います。

遺伝子組み換えについての福岡県との「勉強会」と、GMナタネ荷揚げ港である博多港の管理をする福岡市に要望書提出を行いました。

毎年実施しているこの行政訪問で、グリーンコープの組合員として、遺伝子組み換え由来の食品を子どもたちに食べさせたくないという願いを叶えるために、どのように運動をすすめているかをお伝えしています。

国が「遺伝子組み換え作物・食品は安全である」としていることもあり、応答に大きな変化はありませんが、「10年間続けてきたことで、少しずつでもグリーンコープの運動を理解いただいているのでは?」と感じました。

理事長 大橋 由美子

## 福岡市に要望書提出

11/28



## 「要望書提出」に参加して!

今回の訪問で、ナタネのこぼれ落ちやGMナタネの自生が広がっていることに危機感を抱き、なんとかしたいと思い行動しているグリーンコープと、安全性に問題はないという国の認識と同じ立場を取る福岡市との間には、なかなか相容れないものがあると感じました。

だからこそ、私たちが学習し、調査やナタネ抜き取り隊等の活動を伝え、問題意識を持ってもらえるよう働きかけを継続していくことが、とても大切だと思いました。

福岡西支部委員長 古川 理恵



## 組合員が参加する取り組み

7/8

映画「パパ、遺伝子組み換えてなあに?」  
上映会&天笠先生によるミニ学習会 中部地域

当日は、地元遠賀町のナタネ油やシソジュースの販売をしました

遺伝子組み換え食品いらない!キャンペーン代表の天笠先生による学習会はとても分かりやすく、後に上映された映画をより深く理解する上で役立ったようでした。映画は子どもの食の安全の為に、遺伝子組み換え作物や食品に正面から立ち向かって色々な人、企業に接触、問題提起するとても熱いお父さんに感動です。私たちもグリーンコープの食べものの運動を今後も進化させて、きちんと知って選び、伝えていけば、よりよい世の中に少しでも近付くかもしれませんと感じました。

中遠支部 広報委員 中村 晶子

11/20

## GMナタネ抜き取り隊

博多港箱崎ふ頭



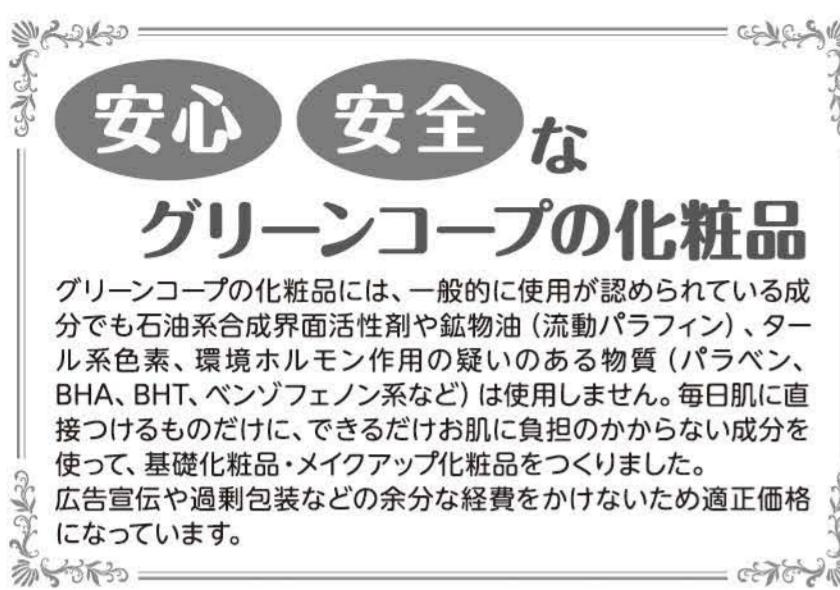
ナタネは発芽率がよく、アスファルトの隙間にあるわずかな土のところにも見られました。芽を出したばかりの双葉が密集していたり、成長していたり、茎が太い状況になっていたりと様々な大きさのナタネを見つけ、約9,800本を抜き取りました。簡易キットにて検査を行い、やはり遺伝子組み換えの陽性反応が出たことを確認しています。自生を広げない、交雑をさせないためにも続けていくことが大切な運動だと実感しています。

食べもの委員長 若松 由香



グリーンコープは今こそ、遺伝子組み換え反対運動を更に力を入れて取り組み、「遺伝子組み換え技術は人体・環境・健康に害があるという知見がある」ということをしっかりと伝えて広めながら、「遺伝子組み換えによる食品を選択しない、遺伝子組み換えでない食べものを選択する」という運動と実践を進めていきたいと考えます。





## 広報委員会で化粧品学習会をしました

若松食べもの委員長を講師に、グリーンコープの化粧品が安心安全に作られていることや、新しく登場している3つのファンデーションの特長について学習しました。3つのタイプと一緒に学習できることによりそれぞれの良さや違いもよくわかりました。



化粧することは紫外線や乾燥から肌を守るのはもちろん、化粧をした自分を見ると元気になります。気持ちの切り替えができたり、若々しく見えるなど、自分自身の気持ちもあがりますよ。皆さんもメイクアップして気持ちを高めましょう。

原田広報委員長

どの化粧品もメーカーが自信をもって届けています。みなさんぜひひたしてみてくださいね。

若松食べもの委員長



グリーンコープは化粧品もいいよね

グリーンコープの化粧品もSPF値が上がったり、ファンデの色が変わったりと時代にのっていると思います。

肌が弱く自分に合うものを探し続けていました。組合員になると同時にグリーンコープの化粧品を使い始めました。肌の調子もよくお気に入りで、手放せません。

3種のファンデーション  
広報委員のおすすめコメント



# 春ファンデーションで 美肌づくりもスタート

## あなたにあうファンデーションがきっとみつかる!

シリーズ名	éclanove EX [エクラノーヴァイーエックス]	エイジングケア	5Rich [ファイブリッチ]	しっかりカバー	心花の彩 ときめきのいろどり	ナチュラルメイク
特長	なめらかでしっとりした使い心地 Shion シリーズ配合のエイジングケア成分を6種類配合 紫外線からお肌をしっかり守ります	肌トラブルの心配があり、環境ホルモンの疑いがある紫外線吸収剤は使っていません	5タイプの美容液成分を配合することでメイクしながら スキンケアを実現 くすみや毛穴をしっかりカバーし、くずれにくい	深呼吸できる素肌をめざし、肌へ負担をできるだけかけずに 6種類の美容成分で美しい素肌へ		
あなたに こんなに あこな 広報委員のおすすめコメント	シミ、くすみや目立つ毛穴を光で消して、きれいな仕上がりをキープ	屋外で長時間活動する時に 肌の乾燥が気になる時に	お手頃価格でデイリーユースに シミやくすみが気になる方に	初めて化粧をする方に		
	■よく伸びて薄付きし夕方までよく持ちます。 ■日焼け止め代わりに使っています。ご近所へのお出かけにはこれをサッと付けると、顔色も明るくなります。	■週末は子どものスポーツ観戦でほとんど屋外で過ごすので、SPFの数値が高いエクラノーヴァでしっかり紫外線対策ができます。	■ぬってすぐは白くなりすぎかなと思いますが、しばらくすると落ち着き顔色が明るくなります。夜クレンジングすると肌がつるつてしまっている(肌に負担がかからない感じがする)ところが気に入っています。	■厚ぼったくならないので、化粧直しに使ってもソヤが違います。	■プッシュタイプなので衛生的で片手で使え便利 ■透明感があるのでナチュラルな感じです。夜の洗顔の時肌触りがソルンとしているような気が…これがエステ効果なのかも! ■日中パックしているかのようなしつとした使い心地。	

コンパクトケースは3シリーズ共通



忙しい朝、これひとつあれば便利!





# 助けあい 支えあいの 地域づくりをめざして！ 夢がカタチになる100円 福祉活動組合員基金



今回助成が決まった団体

## &lt;全体基金運用委員会&gt;

団体名	助成金の使途と活動内容	助成額
グリーンコープ 生協ふくおか	生活再生相談室・自立相談支援事務所に相談され、経済的に困窮している方や組合員の方々に、個別手数料を免除する財源として	(円) 16,848
	子ども料理教室運営費	2,800,000
	子育て講演会開催費用	2,200,000
	ベビーシッター養成講座受講料・交通費	360,000
	子育てサークルの運営助成金及びサークルを支える子育てサポートワーカーズへの委託料として	2,699,000
	託児用おもちゃの購入・修理費用及び衛生品の購入	650,000
	生協の財産である託児用おもちゃや、託児に使用する衛生品を購入。管理は子育てサポートセンター各事業所に委託。	

## &lt;北九州地域&gt;

団体名	活動内容	使途	助成額
NPO法人 老いを支える 北九州家族の会	介護者同士の交流を通して理解を深め援助し合い福祉の向上を目指す。若年性認知症についても学び、相談できる場の提供、安心ゆとりの介護支援を行いたい。	・講演、学習会の講師料と交通費等 ・ボランティア交通費	(円) 70,000
森のこども園	就園前の乳幼児母子が「自然体験を通じ豊かな感性を育み、自然の営みに合わせ生活することを学ぶ」を目的に活動。月1回の体験会も開催。	・備品の購入 ・外部講師講師料 ・環境など設備充実	200,000
元気アート プロジェクト	アート・デザイン・音楽の専門性をいかし、小児医療センターを中心に病気の子どもたちに元気になってもらえる事を目指して活動している。	・材料購入費 ・入退場門などのデザイン・プリント料等	200,000
福岡・障害者と 暮らしを創る会	障害者差別と闘い、障害者の権利確立を目的に発足。障害種別を横断し、知的障害、身体障害、精神障害本人が参加・企画・運営によるフォーラムや学習会を継続開催。	障害者自身が発信するフォーラム開催諸費用	200,000

## &lt;中部&gt;

団体名	活動内容	使途	助成額
NPO法人 ふくつ子ども ステーション すてっぷ	育児支援事業、映像メディア接触抑制を促す啓発事業、乳幼児親子の居場所事業、託児者養成と託児部門開設、親子自然体験事業実施、「森の親子ひろば」開催。	・乳幼児親子「森の親子ひろば」開催費用 ・「森の親子ひろば」スタッフ養成費用	(円) 200,000
糸つむぎ	「大人のわくわくがつむぐ子どもの未来」をキャッチフレーズに、大人向けの講座を企画。五感を使う心に残る講座を目指し、講師・受講者の交流を提供。	・広報費、スタッフ費 ・催し時の講師謝礼、講師交通費、託児費	200,000
特定非営利活動法人 古賀新宮 子ども劇場	子どもが豊かに育つ地域づくりへの取り組み。子どもの諸活動、優れた舞台芸術、子・親育ち支援、子どもの権利条約、子どもの表現活動、子どもに関するネットワーク事業実施。	・子どもキャンプの貸し切りバスレンタル料 ・子育てサロンボランティア交通費	200,000
むなかたMix-Up マニーズ ～ママアップ～	母親が女性として役立つ知識を学び、地域活動を通じ互いに高め合う活動。セミナー開催、交流会、ミニ講座、親子イベント開催。	セミナー講師料と交通費、会場費、託児料、通信費、ボランティアスタッフ交通費	200,000

## &lt;福岡&gt;

団体名	活動内容	使途	助成額
不登校 サポートネット	不登校に悩む保護者支援ネットワーク。悩みを共有し考える会。行政の不登校支援事業に協力。不登校について学ぶ講座を開催し、当事者への理解や対応力を高める場をつくる。	・講座の講師料、交通費、資料費、会場費、募集チラシ作成費 ・ボランティアの交通費	(円) 200,000
福岡知的障がい BBC PIECE	知的障害をもつ子と保護者、兄弟児の活動、交流、情報交換の場をつくる目的で発足。将来の余暇活動につなげる。	ボランティア交通費、備品の充実、合宿やクリニック開催用の一部	200,000
任意団体 フードバンク 福岡	食品ロス削減と生活困窮者支援を目的に発足。食品関連企業や農家に食品の寄贈をお願いし、生活困窮者などに食品を無償で届けている。	ガソリン代、交通費、チラシ・パンフレット作成費、事務用品費	200,000
NPO法人 おうち プロジェクト	ひとり親家庭の問題解決に役立つ暮らし方とシェアハウスを作ろうと活動。交流を図るイベントを活動の大なる柱とし、共に支え合って暮らす社会の実現に向かう。	シングルマザーの交流の場としてのイベント(食材、会場費、広報費)	38,000

参加型地域福祉をすすめるために、組合員が毎月100円ずつ出し合っている「福祉活動組合員基金」。この基金は、グリーンコープの福祉活動や地域で福祉の活動をされている団体に助成し、活用されています。

今回は、11月に全体基金運用委員会・地域基金運用委員会を開催し、助成を決定しました。助成内容についてお知らせします。

## &lt;南地域&gt;

団体名	活動内容	使途	助成額
フリースペース よつば	学校に行きづらい子の学習支援や体験活動、保護者や家族・関係者への研修・啓発活動の講演会や学習会開催。子どもの将来に不安を持つ方々と学習会を行いたい。	・パソコン ・デジカメ ・電子辞書	(円) 190,000
特定非営利活動法人 久留米市 手をつなぐ 育成会	知的障害児者、発達障害児者の保護者や支援者が中心の会で、支援や保護者などのビーアサポートを行う。レクレーションの実施、各種学習会、研修会、サマースクール等実施。	・月2回開催のダンス教室講師料等 ・野球観戦の貸切バスの料金等	200,000
Nっ子クラブ カンガルーの 親子	小さく生まれた子どもとその家族のため発足。月1回定期会、ピア傾聴講座、カンガルーサロン、出張おしゃべりサロン等を開催し、自助・互助から共助へと広がりつつある。	・定期会講師謝金等 ・ピア傾聴講座講師謝金、託児代、スタッフ交通費	200,000
いきいき マジック 筑紫野	マジックをとおし生涯学習の充実、社会を明るく楽しくがモットー。簡単なマジックを教え、ショーを開く。皆を楽しませつつ、自分達の老化防止にも役立つボランティアグループ	・マジック道具購入 ・プロに習って技術を身につける	200,000

## 助成団体より

## 森のこども園（行橋市葦島の森と海）



就園前の乳幼児と親が、一緒に畠仕事や山歩き、海遊びをする一日。昼食はご飯とスープを作り、青空の下でいただきます。自然と触れ合い豊かな感性を育み、自然の営みを学ぶことを目的に楽しく活動しています。

## NPO法人 ふくつ子どもステーション すてっぷ

(福津市、古賀市とその近郊)

2013年3月より、イオンモール福津との協働で、乳児母子（第1子）の育ちを支援する事業「あんだんて」、未就学児母子の育ちを支援する「こもど」を実施しています。これまでに、「あんだんて」を約540組、「こもど」をのべ約1000組の母子が受講され、子育ての仲間が広がっています。



## △フードバンクとは△



## フードバンク福岡（福岡市外近郊）

「もったいない」を「ありがとう」へ。フードバンクとは品質に問題ないにも関わらず、流通できなくなった食品を生活に困っている人に無償で提供する活動です。食べ物を大切にし、分かち合い、助け合う社会を作りたいと思っています。

## フードバンク

## 福岡

(福岡市外近郊)

## フードバンク福岡（福岡市外近郊）

「もったいない」を「ありがとう」へ。フードバンクとは品質に問題ないにも関わらず、流通できなくなった食品を生活に困っている人に無償で提供する活動です。食べ物を大切にし、分かち合い、助け合う社会を作りたいと思っています。

## フードバンク

## 福岡

(福岡市外近郊)

## フードバンク福岡（福岡市外近郊）

「よつば」は、ほっとスペースにしたいと活動をしています。「ひとりで悩まないで」みんなで話す中で、元気に笑顔になれるなどを願っています。また相談支援や学習支援、体験活動を通して、自立することを目指しています。

## フードバンク

## 福岡

(福岡市外近郊)

## フードバンク福岡（福岡市外近郊）

「よつば」は、ほっとスペースにしたいと活動をしています。「ひとりで悩まないで」みんなで話す中で、元気に笑顔になれるなどを願っています。また相談支援や学習支援、体験活動を通して、自立することを目指しています。

## フードバンク福岡（福岡市外近郊）

「よつば」は、ほっとスペースにしたいと活動をしています。「ひとりで悩まないで」みんなで話す中で、元気に笑顔になれるなどを願っています。また

